

第7回ドキュメンタリー ドラマ研究会

『ドキュメンタリードラマ1991雲仙・普賢岳～避難勧告を継続せよ～』
制作者に聞く

2021年9月4日(土)

13:00～17:00 (30分延長の可能性有)

Zoomオンライン開催

参加費無料 (要事前申込)

どなたでも参加できます。途中入退出可。

●概要

『ドキュメンタリードラマ 1991雲仙・普賢岳～避難勧告を継続せよ～』(NHK、2011年、75分)を鑑賞し、3名の制作者とパネルディスカッションを行います。

制作者：片山純一さん(制作統括)、橋浦太一さん(取材)、塙幸成さん(演出、映画監督)

聞き手：本研究会メンバー、今野 勉さん(テレビマンユニオン取締役最高顧問)

●鑑賞番組『ドキュメンタリードラマ 1991雲仙・普賢岳～避難勧告を継続せよ～』の紹介

1991年6月3日、長崎県島原市にある雲仙・普賢岳噴火の大火砕流によって43名の命が失われました。その中には報道関係者、火山研究家、消防団員など、現場の最前線に立つ人々がいました。

この番組では、NHKが保存するニュース映像と、新たに撮影した関係者の証言、ドラマ映像を一体化させ編集しています。番組の中で「これは当時災害の現場で何が起きていたのかをよりわかりやすく再現するための試み」と説明しています。大火砕流が発生するシーンでは、実際のニュース映像とドラマ映像が渾然となり、臨場感のある緊迫した状況が伝わってきます。そして最前線に立ち戦った人々のドラマとして胸に迫ります。この番組の企画から取材、撮影、編集、放送、そして災害から30年後の今について、制作統括の片山さん、取材の橋浦さん、演出の塙さんの3名の制作者からお話を伺います。

事前申し込みはこちらから

主催 専修大学人文科学研究所/日本映像学会ドキュメンタリードラマ研究会
問い合わせ ドキュメンタリードラマ研究会 docudoraeizo@gmail.com



Google forms